歴史・風景・美食を味わえる

港町「函館」

街plus
探訪

函館工業高等専門学校 中津川征士 Masashi Nakatsugawa

1 はじめに

近代的な建築様式を取り入れた五稜郭や元町、海・山・湖などの自然が豊富で、港からの海産物や牧場の乳製品など魅力が一杯な街、函館を紹介します。函館は、古くは箱館と呼ばれ、蝦夷地が北海道に改称され開拓使出張所の函館開設が布告された1869年以降「函館」と、表記されることになったと言われています⁽¹⁾。

2 歴史

2.1 縄文時代

函館の大船遺跡と垣ノ島遺跡は、2021年7月に世界文化遺産登録が決定した「北海道・北東北の縄文遺跡群」の構成資産です。縄文文化では狩猟を中心の非定住の生活様式が想定されていますが、ここで発見された事実から定住の形跡が見つけられるなど、弥生時代につながる生活様式の変化を示す貴重な遺跡になっています⁽²⁾。

2.2 近代

歴史好きの方が思い起こす函館と関わりが深い出来事は戊辰戦争だと思います。鳥羽・伏見の戦いで始まった戊辰戦争の戦地は、江戸・北関東・東北へ移ります。旧幕府海軍副総裁・榎本武揚率いる艦隊は同陸軍大鳥圭介とともに蝦夷地に向かいます。この目的は蝦夷地開拓による徳川家臣の存続でしたが、新政府機関の箱館府に目的を通知しようとするも受け入れられず、戦端が開かれてしまいます。旧幕府脱走軍は松前・江差の攻略に成功し箱館・五稜郭などを占領するも、宮古湾奇襲に失敗し、新政府の箱館侵攻において各方面で敗走し、土方歳三など指令官の戦死もあって新政府に五稜郭を明け渡します。これによって箱館戦争が終結し戊辰戦争は終わります。これらの史実に基づく、榎本武揚上陸の地（森町）、開陽丸記念館（江差）（図

図1 開陽丸記念館（中は資料館）

図2 函館山山頂からの夜景

1)、土方歳三最後の地碑（函館）などが史跡・観光地となっています。

3 風景

3.1 函館山、元町とベイエリア

函館の景色で特筆すべきは、やはり夜景です。函館山山頂からの夜景の美しさはいつまでも見飽きません（図2）。特に、多くのオレンジ系の街灯は明るだけでなく、優しい光で街並みを浮かび上がらせています。このような街づくりの工夫と、函館山と街との距離、両端が海である地形などが絶妙な夜景の美しさをつくり出しています。この函館山山頂へはロープウェイで上ることができます（図10 ①）。また、函館の中心部

図3 旧函館区公会堂

図4 八幡坂から見下ろす風景

図5 金森赤レンガ倉庫から函館山方面を望む

図6 バイエリアのクリスマスイルミネーション（左上、左下）と日本最古のコンクリート電柱（右）

図7 箱館奉行所

図8 五稜郭タワーと桜

に対して函館山とは反対側となる東山、石川などの丘陵地帯や、函館市北に隣接する七飯町の城岱牧場などから見る「裏夜景」も人気があります。ところで、函館山は放送にも重要な場所であり、多くの放送用アンテナが設置されています。ここの地上デジタル放送アンテナは青森方面となる南側には送信電力を下げるように函館の街方向に指向性が設定されています。

ペリー来航によって下田とともに開港した函館には、横浜・神戸・長崎と同様に元町があります。ここには外国文化の影響を持つ建築物が現存しており、カトリック元町教会（図10 ②）、函館ハリスト正教会（図10 ③）、日本基督教団函館教会（図10 ④）、函館聖ヨハネ教会（図10 ⑤）や、西洋式洋館である旧函館区公会堂（図3、図10 ⑥）、旧イギリス領事館（図10 ⑦）、旧北海道庁函館支庁庁舎（図10 ⑧）、地域交流まちづく

りセンター（旧丸井今井呉服店、図10 ⑨）などの街並みが楽しめます。また、湯の川方面の天使の聖母トランプスチヌ修道院（図10 ⑩）も心を引きつけられます。元町エリアには古民家と坂道も多く、石畳がきれいな八幡坂（図10 ⑪）の上からは函館港を見下ろす風景を楽しむことができます（図4）⁽³⁾。

元町から坂を下った北東側がバイエリアです。このエリアの代表的な建物が金森（かねもり）赤レンガ倉庫（図5、図10 ⑫）で、大分県出身の実業家、渡邊熊四郎が開業した金森洋物店を起源とする金森商船株式会社が管理する倉庫群です。現在も倉庫として使用される一方、歴史的建造物に指定され、一部はバイエリアの観光・ショッピング施設に生まれ変わっています。バイエリアでは夏と冬の花火の打上げや、クリスマスイルミネーションなどを楽しむことができます。また、

末広町には日本最古のコンクリート柱があります。四角い形が特徴的な電柱は90年以上経た今でも現役で使われています(図6, 図10⑬)。

3.2 五稜郭

五稜郭は箱館開港にあたり、箱館の防備のため建築された城郭です。五稜郭はヨーロッパで発達した城塞都市をモデルとしたもので、有事には役人家族や住民の避難も考慮されていました。五稜郭内に江戸幕府が設置した箱館奉行所(図7, 図10⑭)⁽⁴⁾は、箱館戦争時には旧幕府脱走軍が占拠し、箱館戦争後に解体されました。現在は、全体が五稜郭公園として整備され、箱館奉行所が復元されています。大正時代に植樹された桜は5月上旬には満開を迎え、藤棚やつつじの花も美しい憩いの場となっています。また、五稜郭タワー展望フロアからは360°のパノラマを楽しむことができます(図8, 図10⑮)。

3.3 大沼

函館の北側の七飯町には、大沼国定公園があります(図9, 図10⑯)⁽⁵⁾。大沼国定公園内には、大沼、小沼、蕁菜沼の三つの湖があり、これらは一つの大きな「古大沼」が北側の駒ヶ岳の噴火によって分断されて形成されました。ここは、2010年に日本の紅葉名所100選⁽⁶⁾

図9 大沼(手前)と駒ヶ岳(遠方)

に選ばれ、2012年にはラムサール条約登録湿地⁽⁷⁾となっています。

4 美食

4.1 海産物

函館には海産物を扱う鮮魚店・レストランが多く、安くてもおいしいです。特に、JR函館駅の南西側にある函館朝市⁽⁸⁾、市電堀川町電停近くの中島販売⁽⁹⁾、市電新川町電停近くのはこだて自由市場⁽¹⁰⁾では、鮮魚を中心に様々な食材が販売されるだけでなく、新鮮な食材を使った寿司や海鮮丼を販売する食堂もあります。

4.2 ジャガイモ

「函館でジャガイモ?」と、思われる方も多いと思います。実は函館周辺には、二つのジャガイモ発祥の地があります。一つ目の七飯町は男爵いも発祥の地です。道の駅「なないろななえ」の隣には、男爵いもを日本に持ち込み栽培を始めた川田龍吉男爵にちなんでTHE DANSHAKU LOUNGE(図11)⁽¹¹⁾があり、川田男爵と男爵いもの歴史を知ることができます。二つ目は、函館市の二つ隣の厚沢部町で、日本で初めてメークインの栽培を始めた場所です。英語ではMay Queenとつづりますが、日本語の品種名はメイクインではな

図11 七飯町にある THE DANSHAKU LOUNGE

図10 主な施設等の所在(国土地理院電子Web地図から筆者作成)

く、メイクインが正式です。メイクインは松山農事試験場で栽培され始め、関西方面での人気とともに全国に普及しました。

4.3 ソフトクリーム・アイスクリーム

函館周辺には、自然いっぱいの牧場が多くあります。とれたての牛乳から作られるソフトクリーム・アイスクリームの味は濃厚でおいしく頂けます。函館牛乳の工場敷地内にある「あいす118」では、ソフトクリームをはじめ乳製品を販売しています。また、大沼の南にある山川牧場や久保田牧場チーズ研究所ミルクパーラーでもソフトクリームやアイスクリーム、及びチーズ等の乳製品を販売しています。大自然の中で食べるソフトクリームは格別な味です。函館市内にもおいしいソフトクリームのお店が多くあり、本通りのプティ・メルヴィーユ、函館高専近くのCOFFEE ROOM きくちなど挙げたらきりがありません（図12）。

4.4 ラッキーピエロ、ハセガワストア

函館っ子のソウルフードというと、ラッキーピエロの「チャイニーズチキンバーガー」とハセガワストアの「やきとり弁当」です（図13）。ラッキーピエロは

図12 ソフトクリーム・アイスクリーム
左上：あいす118
右上：久保田牧場ミルクパーラー
左下：プティ・メルヴィーユ
右下：COFFEE ROOM きくち

図13 ベイエリアのラッキーピエロとハセガワストア

道南地区で店舗展開するハンバーガーチェーンですが、カレーライス、オムライス、カツ丼も販売し、一部店舗ではラーメン、あんかけ焼きそば、ピザも扱っており、店舗ごとに異なる装飾のテーマを持つユニークなレストランです。ハセガワストアの「やきとり」は豚肉です。豚肉の串焼きが載ったやきとり弁当は、容器に串を抜くための溝があるのが特徴で、誰でも親しめるおいしさです。

5 おわりに

函館に暮らし始めて見つけた函館の魅力を紹介致しました。本稿で紹介したほかにも、湯の川温泉、塩ラーメン、シスコライス、個性的なスイーツ&ベーカリー、べご餅、甘納豆のお赤飯、など古い良さとモダンズムを反映した名所・名物も一杯です。機会がありましたら、函館を御訪問の上、街の雰囲気を楽しんで頂ければ幸いです。

文献

- (サイト閲覧日はいずれも2021年6月1日)
- (1) 函館商工会議所，“函館歴史文化観光検定—はこだて検定公式テキストブック，”第7版，2018。
 - (2) 函館市ホームページ，<https://www.city.hakodate.hokkaido.jp/docs/2017122200117/>
 - (3) 海、山、歴史を楽しむ「函館の坂のご案内」，<https://www.hakobura.jp/walk/post-35.html>
 - (4) 箱館奉行所，<https://www.hakodate-bugyosho.jp/>
 - (5) 七飯大沼国際観光コンベンション協会，<http://onumakouen.com/>
 - (6) “日本紅葉の名所100選，”主婦の友社（編），2010
 - (7) 環境省，“日本の条約湿地，”https://www.env.go.jp/nature/ramsar/conv/ramsar/sitej/RamsarSites_jp_web21.pdf
 - (8) 函館朝市オフィシャルサイト，<http://www.hakodate-asaichi.com/>
 - (9) 中島廉売，<http://nakajimarenbai.com/>
 - (10) はこだて自由市場，<http://hakodate-jiyuichiba.com/>
 - (11) THE DANSHAKU LOUNGE，<https://danshaku-lounge.com/>

中津川征士（正員：シニア会員）

昭62早大・理工・電子通信卒。平元同大学院理工学研究科修士課程了。平9カリフォルニア工科大学院博士前期課程了。平元NTT無線システム研究所。平24NTTアクセスサービスシステム研究所プロジェクトマネージャ。平29NTTアドバンステクノロジー主幹担当部長。令2函館工業高等専門学校教授。マイクロ波工学・無線システムに関する研究に従事。博士（工学）。